

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-39938

⑬ Int. Cl.³
B 60 R 13/10

識別記号

庁内整理番号
7191-3D

⑭ 公開 昭和56年(1981)4月15日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑮ ライセンスプレートホルダー

⑯ 発明者 渡辺朗

東京都杉並区浜田山 4-16-4
日産浜田山寮

⑰ 特 願 昭54-116347

⑱ 出 願 昭54(1979)9月11日

⑲ 出 願 人 日産自動車株式会社

⑳ 発 明 者 鳥居宏允

横浜市神奈川区宝町 2 番地

小金井市貫井北町 5-25-14

㉑ 代 理 人 弁理士 有我軍一郎

明 細 書

1. 発明の名称

ライセンスプレートホルダー

2. 特許請求の範囲

前面にライセンスプレートが取り付けられるプレート取付面と該プレート取付面の周縁近傍に位置する一対のランプ取付面とを一体的に形成したことを特徴とするライセンスプレートホルダー。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、自動車のライセンスプレートホルダーに関する。

一般に、ライセンスプレートおよびライセンスプレート照明ランプを取り付ける位置のリヤパネルは曲面に形成されている。このため、第1図および第2図に示す従来のライセンスプレートホルダーにおいては、ライセンスプレート(図示せず)を取り付けるために平面出しがなされたブラケット(2)をリヤパネル(3)に取り付け、

このブラケット(2)にライセンスプレートを取り付けていた。一方、ライセンスプレート照明ランプ(4)はライセンスプレートの側方に一対取り付けられるが、このライセンスプレート照明ランプ(4)は底面がリヤパネル(3)の曲面に合うよう成形された後、リヤパネル(3)に取り付けられていた。このように、ライセンスプレート照明ランプ(4)の底面を種々異なつたリヤパネル(3)の曲面に合わせて成形する必要がある、その成形作業が面倒であるばかりかこれらの取付作業が面倒となるという問題点があつた。

この発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、プレートホルダー本体にプレート取付面とランプ取付面を一体的に形成し、プレート取付面にライセンスプレートを、ランプ取付面にライセンスプレート照明ランプを取り付けることにより、上記問題点を解決することを目的としている。

以下、この発明を図面に基づいて説明する。

第3～6図はこの発明の一実施例を示す図で

(1)

-201-

(2)

BEST AVAILABLE COPY

ある。まず構成を説明すると、00はプレートホルダー本体であり、このプレートホルダー本体00は前面中央に平面出しされたプレート取付面01と、このプレート取付面01の周縁近傍、すなわちその外側部に位置する平面出しされた一対のランプ取付面02,03とを有する。プレートホルダー本体00の側壁04には切欠き0404が形成されてリヤパネル05の曲面形状に合うようになされている。プレート取付面01の仮想線で示す位置にはライセンスプレート（図示していない）が取り付けられ、ランプ取付面02,03にはライセンスプレート照明ランプ06,07が取り付けられる。プレートホルダー本体00の中央部には開口部08が形成されてライセンスプレート照明ランプ06,07のハーネス09のコネクタ（図示していない）を自動車の車体から導出されるハーネスのコネクタ（図示していない）に接続する際その接続作業を容易にしている。プレートホルダー本体00の後面で開口部08の上方両外側には突起09,10が形成され、この突起09,10とプレートホルダー

(3)

への固着は貫通孔02,03に挿入されるボルトとこれにねじ込まれるナットによつても行なわれる。この固着の際には突起09,10とリヤパネル05の間に前述のようにパッキン04を介在させるが、このパッキン04の厚さを変えることによつてプレートホルダー本体00をリヤパネル05に法規に合った傾斜角に微調節して取り付けることができる。なお、02,03は突起09,10の両外側に形成された孔であり、この孔02,03からライセンスプレート照明ランプ06,07のハーネス09が導出される。

本発明は上述したようにプレートホルダー本体にプレート取付面とランプ取付面を形成し、プレート取付面にライセンスプレートを、ランプ取付面にライセンスプレート照明ランプを取り付けるようにしたので、ライセンスプレート照明ランプの底面を種々異なるリヤパネルの曲面形状に合わせて成形する必要がないと共にこれらのランプをホルダーにサブアッセンブリしておくことが出来、作業性の向上が図れるものである。

(5)

本体00を貫通する貫通孔02,03にはライセンスプレート固定するボルトがねじ込まれるようになされている。また、プレートホルダー本体00の後面で開口部08の下方両外側にも突起09,10が形成され、この突起09,10とプレートホルダー本体00を貫通する貫通孔02,03にはプレートホルダー本体00をリヤパネル05に固定するボルトが挿入される。また、プレートホルダー本体00の後面で突起09,10の両外側にも突起09,10が形成され、この突起09,10とプレートホルダー本体00を貫通する貫通孔02,03には、ライセンスプレート照明ランプ06,07をリヤパネル05に固定するための該ランプ06,07に固着されたボルト02,03が挿入される。突起09,10とリヤパネル05との間にはボルト02,03をそれぞれ所定厚さのパッキン04が介在される。02,03はリヤパネル05の内面でボルト02,03にねじ込まれたナットであり、このナット02,03をボルト02,03に締め付けることによりプレートホルダー本体00はリヤパネル05に固着される。なお、プレートホルダー本体00のリヤパネル05

(4)

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の自動車の後部を示すその斜視図、第2図は第1図の矢印Bで囲まれた部分の拡大図、第3図は本発明に係るライセンスプレートホルダーの前面から見たその斜視図、第4図は第3図のライセンスプレートホルダーの後面から見たその斜視図、第5図は第4図のA-A矢視断面図、第6図は第3,4図に示されたライセンスプレートホルダーを自動車に取り付けた状態を示す自動車の後部斜視図である。

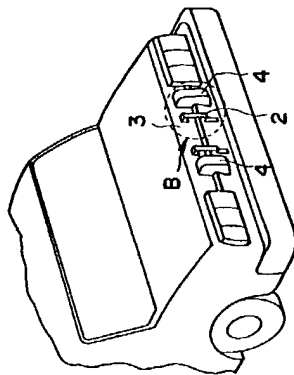
00……プレートホルダー本体、01……プレート取付面、02,03……ランプ取付面、06,07……ライセンスプレート照明ランプ

特許出願人 日産自動車株式会社

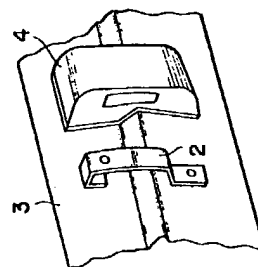
代理人 弁理士 有 我 軍 一 郎

(6)

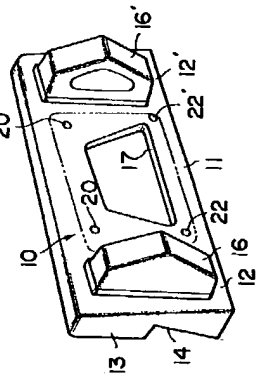
第 1 図



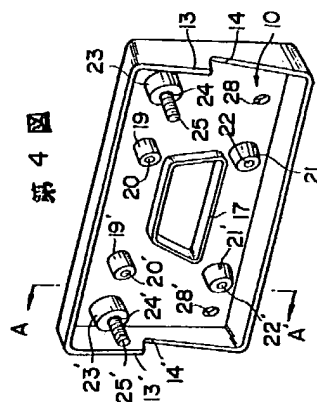
第 2 図



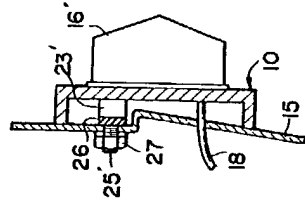
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

